

第11期決算公告

2016年5月24日

東京都中央区日本橋茅場町二丁目1番10号

千代田スタッフサービス株式会社

代表取締役 松本 稔

貸借対照表

(2016年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
【流動資産】	(131,428)	【流動負債】	(38,346)
現金及び預金	1,703		
未収入金	75,290	未払費用	25,602
関係会社貸付金	54,138	預り金	1,578
その他流動資産	296	未払法人税等	1,605
		賞与引当金	1,034
【固定資産】	(774)	未払消費税	8,526
(有形固定資産)	(148)		
建物付属設備	148	【固定負債】	(5,334)
(無形固定資産)	(451)	退職給付引当金	5,334
ソフトウェア	451		
(投資その他の資産)	(174)	負 債 合 計	43,679
敷金	174		
		純資産の部	
		【株主資本】	(88,522)
		【資本金】	(30,000)
		【利益剰余金】	(58,522)
		利益準備金	7,500
		(その他利益剰余金)	(51,022)
		別途積立金	38,500
		繰越利益剰余金	12,522
		(内当期純利益)	(2,467)
		純 資 産 合 計	88,522
資 産 合 計	132,202	負 債 純 資 産 合 計	132,202

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示してあります。

注記表

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 定率法
(リース資産除) ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)は定額法を採用している。
- (2) 無形固定資産 定額法
(リース資産除)
- (3) リース資産
① 所有権移転ファイナンス・自己所有の固定資産に適用する減価償却法と同一のリース取引に係るリース資産 方法を採用している
② 所有権移転外ファイナンスリース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法リース取引に係るリース資産 を採用している。

2. 重要な引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金 売上債権、貸付金等の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
- (2) 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき計上している。
- (3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、自己都合退職による期末要支給額を計上している。
3. その他 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

【貸借対照表に関する注記】

1. 有形固定資産の減価償却累計額 207千円
2. 関係会社に対する短期金銭債権 129,631千円

【1株当たり情報に関する注記】

- 発行済株式の数 600株
- 1株当たり当期純利益 4,112円32銭